

Seminar Report

2017年8月27日(日) AP 大阪梅田茶屋町にて
弊社主催の資産運用セミナーを開催致しました！

夏枯れ相場、真っ只中？その時、コモディティと株式で利益を狙う！

❖第1部❖ いよいよ来たか!?売り相場



第1部は、弊社講師による講演を行いました。
今回は、値段が下がる局面においても利益を狙うことができる、“売り”について解説させていただきました。“売り”とは空売りのことで、取引開始時の価格より下がった価格で決済すれば利益、上がった価格で決済すれば損失という特徴があります。売りを使うメリットとしては、底無しに値下がり続ける相場には、買いでは参加できませんが、そのような場面では逆に遺憾なく力を発揮しますので「取引参加の機会の増加」、「ヘッジ目的に有効な手段」となります。この“売り”を使って、これから期待できる“売り銘柄”をいくつかご紹介させていただきました。

❖第2部❖ 第1四半期決算も出そう。秋相場の株式市場のトレンドを読む。



第2部は、株式アナリスト鈴木一之先生による講演を行いました。
今回は、様々な視点から見た「変化」について解説していただきました。自動車からEVへのシフトにより銅の使用量が増加するなど、注目を集めている銅市場を取り巻く変化や、リオ・ティントは今年後半に西オーストラリア州のシルバーグラス鉱山で生産を開始するなど、グローバル経済環境の変化に関する紹介をしていただきました。また、企業の変化、収益について表による解説もしていただきました。講演の最後に、今後の株取引での注目銘柄の紹介があり、参加者の皆様にとって今後のヒントになったのではないのでしょうか。

❖講師紹介❖ 株式アナリスト 鈴木 一之氏



1961年生まれ。83年千葉大学人文学部卒業後、大和証券に入社。株式トレーディング室にて一貫して株式トレードに従事。歴史に残る数々の相場の転換点を現場の最前線で体験。2000年よりインフォストックズドットコムに場を移し、日本株チーフアナリストとして相場を景気循環論でとらえるシクリカル銘柄投資法を展開。テレビ、ラジオ、新聞、経済誌など多方面で活躍中。著書に「景気サイクル投資法」「有望株の選び方」などがある。

会場にお集まり頂いた皆様、ありがとうございました。

株式会社さくらインベストは今後も定期的、投資家の皆様のお役に立てていただけるようなセミナーの開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。